

周防大島町の話題



▲柑きつ振興センターでの開講式の様子

今年も開講！みかんいきいき営農塾

5月8日、安下庄にある柑きつ振興センターで「周防大島みかんいきいき営農塾」の開講式が行われました。

これは周防大島町内の退職帰郷者や、町外に在住しながら町内での就農や農作業支援を希望する人を対象に、年間を通じて柑きつ生産技術の研修を実施し、周防大島みかん産地の新たな担い手育成を目的としています。

第25期目となる今年度も、町内外から27人が参加し、毎月1回栽培技術を学びます。

開講式の中で、藤本町長も「周防大島の大切な一次産業である柑橘を、ぜひとも盛り上げていただきたい」と思いを伝えました。

周防大島の魅力満喫

5月17日、道の駅サザンセットとうわをスタート・ゴールに、サイクルイベント「シマクル2026 周防大島」が開催されました。

今年はロングコース（約90km）に2つのルート（山ルート・海ルート）が用意され、ミドルコース（約40km）と合わせて全国各地から約500人が参加しました。

参加者は、瀬戸内海の多島美や人気のフォトスポットでの撮影など絶景を楽しみながら、またエイドステーションでは周防大島ならではの地元料理やアロハメニューなど周防大島の魅力を満喫しました。



▲今年は新企画としてハワイアンコーデでの参加も呼びかけ、アロハシャツを着た参加者も多く見られました

日本・ハワイ姉妹州姉妹都市サミットへ参加

5月21日、22日に第2回日本・ハワイ姉妹州姉妹都市サミットがハワイ州ホノルルで開催され、山口県から村岡県知事、柳居県議会議長、繁吉県教育委員会教育長と周防大島町からは藤本町長が参加しました。

本サミットは、ハワイ州との間で姉妹州・姉妹都市関係にある日本の自治体が一堂に会し、文化・教育・経済・相互親善などについて意見交換等を行うものであり、山口県・山口市と共同で設置した展示ブースにて周防大島町のPRを行いました。



▲母親が山口県出身であるデービット・イゲ前ハワイ州知事（左から6番目）との写真撮影を行う藤本町長（一番左）たち